

第六十二回帝國議會
議院

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨)
外四件委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和七年六月七日(火曜日)午前十時三十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事 山崎 猛君

理事 鈴木 義隆君

理事 小谷 節夫君

理事 西脇 晉君

理事 中村 繼男君

川口 義久君 本多貞次郎君

小高長三郎君 內田 信也君

鈴木辰三郎君 高橋熊次郎君

壽原英太郎君 山本莊一郎君

太田 正孝君 伊坂秀五郎君

上原平太郎君 磯部 清吉君

天辰 正守君 野依 秀市君

増田 義一君 野田文一郎君

比佐 昌平君 清水留三郎君

池田 敬八君 中野 寅吉君

同日委員福田關次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ中野寅吉君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ
內閣總理大臣兼外務大臣

子爵 齋藤 實君

大藏大臣 高橋 是清君

陸軍大臣 荒木 貞夫君

拓務大臣 永井柳太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內閣書記官長 柴田善三郎君

法制局長官 堀切善次郎君

大藏參與官 上塚 司君

大藏省理財局長 富田勇太郎君

大藏書記官 川越 丈雄君

大藏書記官 賀屋 興宣君

陸軍主計監 小野寺長治郎君

陸軍少將 山岡 重厚君

陸軍二等主計正 栗橋 保正君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和七年法律第一號中改正法律案

(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

昭和七年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案(政府提出)

國債ノ價額計算ニ關スル法律案(政府提出)

府提出)

岡田委員長 只今カラ昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)外四件ノ委員會ヲ開會致シマス——初

メニ大藏大臣ノ御説明ガアリマスレバ願ヒタイト思ヒマス——ソレデハ御質問ガアレバ——西脇君

西脇委員 大藏大臣ガオイデニナリマスルカラ承リタイノデアリマスガ、ドウゾ極メテ率直ニ明快ニ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ御親切ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、現在國債ガ内外債合セマシテ六十一億以上ニ達シテ居リマス、今年ノ政府ノ發行ノ額ト云フモノハ、新規公債ニ於テ五億二千九百萬圓餘、或ハ借換ノ方ガ約一億九

付託議案

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)
昭和七年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
行政整理又ハ軍備整理ニ際シ退官退職シタル者等ニ交付スル公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
昭和七年度以降國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル法律案(政府提出)
國債ノ價額計算ニ關スル法律案(政府提出)

云ヒマスルト、矢張左様ナ公債ハ當然出ナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ガ續イテ參リマスルト、三四年ノ間ニハ、我國ノ公債ハ百億圓ニ垂トスル所マデ、段々額ガ殖エルト云フコトニナルト、非常ニ矢張後年度ノ財政ニモ響イテ來マスシ、結局ハ増税ノ端ヲ啓ク、又増税ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリマシテ、非常ニ國家ノ財政上憂フルノデアリマス、斯様ナコトハ申上ゲル迄モアリマセヌガ、公債ハ容易ニ發行シテハイカヌ、ドウシテモ已ムヲ得ザル非常時ニ、其財政ヲ料理スル場合ニ於テ、其財源トシテ公債ヲ發行スルト云スノガ、財政上ノ原則デアリマスガ、斯ンナニ毎年五億萬圓宛ズツ續イテ參リマシテハ、非常ナ將來ノ財政ノ上ニ破綻ヲ來シ、憂フベキ結果ヲ生ズルト思ヒマスガ、此時ニ當リマシテ大藏大臣ハ、ドウ云フ風ニ此公債政策ニ對シテ、公債ノ發行ノ點、償還ノ點、公債ノ價格維持、國家ノ財政ノ信用、而シテ今年ノ公債ニ付テハ、本會ニ於キマシテ大臣ハ日本銀行、預金部、其他政府ノ資金ヲ以テ之ヲ賄ツテ行ッテ、一般募集ハシナイ、民間經濟ノ壓迫ハシナイト云フヤウナ、御方針ノヤウニ承ツテ居リマシテ、是非非常ニ吾々ハ贊成スル所デアリマスガ、國家ノ資金デアリマシテモ、

間接ニハ矢張民間ノ經濟ヲ壓迫スルコトハ事實デアリマス、サウ云フヤウナ點デ產業資金ノ點ニモ影響ヲ及ボシテ來ル、非常ナ重大ナル財政上ノ危機ニ立ッテ居リマス、此際ニ於ケル大藏大臣トシテ、此公債政策ニ關スル御意見ヲ一ツ承リタイト思ヒマスカラ、叮嚀親切ニ、出來ルナラバ詳細ニ御話シ下サレバ非常ニ結構ト存ジマス

○高橋國務大臣 公債ノ非常ニ殖エテ

行クコトヲ將來ニ於テ憂フルコトハ、寔ニ御同感デアリマス、併シ申ス迄モナク現在ノ我國ノ實勢カラシテ避ケ得ナイコトデアリマスカラ、先ヅ今年ハ成ベク市場ニ出サナイデ、公募ヲ避ケテ、日本銀行ト政府ノ資金デ賄フト云フコトニ大體計畫ヲ立ッテ居リマス、偕テソレデ來年ニナリマススト云フト、又公債ガ殖エテ來ル、ドウモ滿洲事件ト云フモノガ今年デ收リガ付イテ、非常事件費ト云フヤウナ名目ノ下ニ、公債ノ發行ヲ餘儀ナクサレルヤウナコトガナイヤウニナレバ、寔ニ仕合ダト考ヘテ居リマス、是ハマダドウモハッキリ前途ノコトハ分リマセヌカラシテ、モウ滿洲事件費ノ公債ハ、是ヨリ出ナイノダト云フ安心ハ出來ナイノデアリマス、偕テソレナラバ左様ニ餘儀ナイ公債ガ殖エテ、將來公債ノ償還、又公債ノ値ガ下リ、延イテ我が財政ノ信用ニ

傷ガ付クヤウナコトニナレバ、サウ云フコトニ付テドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フ御話デアアル、度々申ス通り、ドウシテモ國民ノ懷ロニ餘裕ノ出來ルヤウニ、商工業ヲ發達セシメテ行クヨリ外ニ國ヲ富マス途ハナイノデアリマス、デ若シ其政策ガ行ハレテ、農商工ノ營業ニ於テ相當皆利潤ガアル、財界ガ安定スルト云フヤウナコトニナリマスト云フト、我國民ノ今日生産ノ力ヲ金ニ積リマシタナラバ、平常ノ時ニ於テハ少クモ百億萬圓ハアルノデアアルガ、今日デハソレガ六十億前後ニ減ッテ居ルノデス、之ヲ回復シテ行カナケレバナラヌ、之ヲ回復スルノハ、銘々ノ産業ニ於テ進ンデ行クヨリ仕方ガナイ、之ヲ進メル爲ニ此度出シテアル所ノ、通貨ノ統制ニ關スル所ノ金融機關及兌換券ノ制度ノ改正ナドガ其基礎ニナツテ居ル、此基礎ノ上ニ、是カラ農商工總テノ産業ニ關係スル所ノ各省ニ於テ堅實ナル計畫ヲ樹テテ、國民ノ生産ノ力ヲ養成シテ行カナキヤナラス、是ガ改正サレテ、假ニ百億ノ生産ノ力ガ國民ニ生ズルト見ルト、從來ノ經驗ニ依ッテ見マスト、其中ノ二割、二十億位ハ確ニ國民ガ貯蓄スル力ヲ持ツ、若シ此貯蓄スル力ヲ全部公債ニ向ケレバ、百億ノ公債ハ五箇年ニシテ消化スルコトガ出來ル譯デアアル、左様ニナッテ來レバ

政府ノ歲入モ隨テ殖エテ來ル譯デアアル、サウスルト是迄アッタヤウナ減債基金ト云フモノノ方モ實行ガ出來ルヤウニナッテ來ル、ソレ故ニ公債ノ優遇法ト申シマスガ、此度其價格ニ付テ銀行、諸會社ガ半期々々ノ考課狀ニ載セルノニ、取得價格ヲ財産トシテ掲ゲルコトヲ許スヤウナ法案ガ出シテアル、ドウモ國家ノ非常時ニアッテ、一時其國ノ公債ガ殖エテ、其公債ノ償却ニハ、國民ノ納税ノ力ガ増シテ來テ、初メテ其償還ガ出來ルノデアリマスカラ、先以テ國民ノ生産ノ力ヲ増進スルト云フコトガ根本デアアル、是ハ隨分時ガ掛リマセウ、時ノ力ヲ藉リナケレバ、一時ニ斯ウスレバ宜イト云フ名案ハドウモ無いノデアリマス、矢張私ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマスカラシテ、假令我國ノ公債ガ百億ニ上リマシテモ、國民全體ガ其營業上ニ於テ不安ナク勤勉努力スレバ、此難關ヲ突破シテ行クコトハ、我が國民トシテ出來得ルコトト考ヘマス、度々申ス通り、ソレニ我國ノ一ツノ仕合ナコトハ、他ノ歐米ナドノ國ト違ッテ、大戰争ノ爲ノ債務モナケレバ、債權モナイ、アッタ所ガ極ク僅カノ債權デアアル、仕拂國ノ盛衰如何ニ依ッテ、忽チ我國ノ財政經濟ニ影響ガ來ルト云フ、其惱ガ我國ニナイノデアアルカラ、何處迄モ自分ノ力ヲ伸バシテ、産業ノ力ヲ

充實セシメテ行ケバ、自給自足モ出來ル國デアル、隨テ此公債ノ價格モ維持ガ出來、消化モ出來、サウシテ國民ニシテ納税ノ力ガ増シテ來レバ償還モ出來ル、斯ウ大體考ヘテ居リマス

○西脇委員 大體承リマシタ、次ニ減債基金繰入ノ件ニ付テ承リタイト思ヒマス、今年度ノ減債基金繰入停止ノ金額ハ四千七百萬圓バカリデ、一面八億千萬圓バカリノ公債ガ出ル、公債ガ出レバ公債ノ供給ガ殖エルノデアリマスカラ、ドウシテモ價額ニ影響ヲ及ボスコトハ明デアリマス、減債基金ヲ設ケラレタノハ、大臣一番御承知ノ通りデアリマス、三十九年ニ外債ガ非常ニ澤山殖エタ時ニ、何ダカ表面ニハ現ハレナイケレドモ、一ツノ條件ガアッテ、基金ヲ設ケルト云フヤウナ諒解ノ下デ外債ヲ募ラレタト云フコトヲ漏承ッテ居リマスガ、減債基金ノ特別會計法ヲ設ケラレタノハ——減債基金ヲ置イタノハ、公債價額ノ維持ト、公債所持者ニ對スル公債支拂ノ擔保トモ言ッテ宜イ、ソレダケノ效果ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、殆ド三分ノ二以上ノ繰入停止ヲヤッテハ、一面益、公債ノ價額ヲ維持シ、國家ノ信用ヲ増サナケレバナラヌノデアリマスノニ、其返濟ノ保證タル性質ヲ有ッテ居ル其基金ヲ減スト云フコトハ、全ク矛盾セル事デアリマセ

ヌカ、而シテ四千七百萬圓ハ寧ロ置イテ置イテ、新規ノ公債ノ方ヲ御殖シニナッタ方ガ得策デナイカト私ハ考ヘマヌガ、其點ハドウ云フヤウナ御考デ四千七百萬圓ノ三分ノ二ダケヲ繰入停止ヲナサレタカ、寧ロ新規ノ公債ヲ御殖シニナッタ方ガ宜イヤウニ考ヘマスガ、其點ガ疑問デアリマスカラ御教ヘヨ戴キタイ

○岡田委員長 一寸申上ゲマス、大藏大臣ガ一々御起チニナルノモナンデアリマスカラ、特ニ御著席ノ儘デ……

○高橋國務大臣 其減債基金ハ、是迄モ兎角其起リニ付テハ誤解ガアルノデス、成程是ハ日露戰爭中ニ外債募集カラ歸ッテ來テ政府ニ——其前カラ政府ニ進言シタノハ事實デアリマス、併シ其起リハ斯ウ云フ事ナンデス、御承知ノ倫敦ノ「ロスチャイルド」今ハ故人ニナリマシタガ、其會長トデモ申シマスカ、其「ロード・ロスチャイルド」有名ノ人デスガ、此人ガ非常ニ日本ニ同情シテ、日本ガ公債ヲ出スニモ表裏共ニ能ク世話ヲシテ呉レマシタ、ソレガ私ニ言フノニ、ソレハ「ボーツマス」講和條約ノ後ニ於テ、自分モ今度ノ講和ニ付テハ、露西亞カラ日本ガ債金ヲ取ルコトデアラウト思ッテ居ル、マア澤山ハ取レナクテモ、七億、八億位ノ債金ハ取レルダラウト思ッテ居ル、ソレガ

遂ニ取レナクナッタ、聞ク所ニ依レバ此戰爭ノ爲ニ日本ノ國民ハ隨分重イ稅ヲ負擔シテ來タ、此戰爭デ稅ガ重クテ苦ンデ居ルト云フコトヲ聽ク、債金ハ取レズ、戰費ノ爲ニ借財シテ租稅ヲ重クシタ、斯ウ云フ場合ニアッテハ、ドウシテモ自分デ働イテ、其戰費ヲ作ルト云フコトヲ日本ノ國民ハ覺悟シナケレバナラス、ソレニハ日本ノ國民ガ戰時中ニ重イ稅ヲ負擔シテ居ッテ、其重荷ヲ背負ナガラ、是カラ尙ホ登ラントスル山ニ登リ得ルヤ否ヤ、ソレダケノ力ガ國民ニアルカ、農商工ノ働キヲ益、進メテ行カナケレバナラスノニ餘リ荷ガ重クテ、此山坂ガ登レナイト云フヤウニナッテ居ルナラバ、何事ヲ措イテモ其負擔ヲ輕クシテヤラナケレバナラス、サウシテ働カセル、幸ニ日本ノ國民ガ其戰時中ノ重イ稅ヲ負擔シテ、尙ホ是カラ困難ナ山ヲ登ッテ行ケルト云フ力ガアリ、勇氣ガアリ、ソレニ堪ヘルト云フコトデアルナラバ、其次ニハ其戰爭中ニ外國ニ於テ日本ニ同情シテ、多額ノ日本ノ公債ニ應募シタ其人達ニ安心ヲ與ヘル爲ニ、減債基金ト云フモノヲ置イタラドウカ、斯ウ云フ話ガアッタ、公債募集ノ條件ナドト云フコトニ、世ノ中デハ言ウテ居ル人ガアリマスケレドモ、公債ヲ募集スル上ニハ決シテソノナ條件ハ一ツモナイ、戰爭ガ濟ンダ後

ニ「ロード・ロスチャイルド」カ又サウ云フ話ガアッタ、洵ニ御尤ナ意見デアルシ、親切ナ意見デアルカラシテ、其當時私ハ「ロード・ロスチャイルド」ノ意見トシテ進言シタノガ元デ、減債基金ト云フノガ出來ルヤウニナッタ、ソレ故ニ初メノ減債基金ト云フモノハ、主トシテ此基金ヲ、外國デ募集シタ公債ノ償還ニ充テルト云フコトニ向ケラレテ居ッタノデス、サウ云フ譯デアアル、而シテ今日デモ全部減債基金ノ繰入ヲ中止シナカッタ所以ト云フモノハ、主トシテ矢張外國ノ公債ヲ買入レルト云フモノト、ソレカラ既ニ我國デハ内地ニ於テモ、公債優遇法ト云フカ、今ハ無クナリマシタケレドモ、例ヘバ煙草ノ賣捌人ナドガ保證金ヲ入レルトカ、或ハ其他ニモ色々アル、サウ云フ風ニ色々方法トシテ、或ル公債ヲ取ル、ソレハ額面デ取ッタノデアアル、其公債ヲ政府ハ買入レナカッタ、サウ云フ金ガ必要デア

ル、其必要ナ部分ヲ除イテ、後自由ニ使ヘルモノ、繰入ヲ中止シタ、自由ニ使ヘル——其自由ニ使ヘルト云フノハ、ドウ云フ風ニ從來使ハレテ居ッタカト云フト、政府ガ新ニ公債ヲ發行スル、若クハ公債ノ借換ヲスルト云フ時分ニハ、其發行ノ價格ヲ成ベク良クスル爲

ニ、一時市場カラ公債ヲ買上ゲルト云フ風ニ主ニ用ヒラレテ居ッタ、公債ヲ市

場カラ買上ゲルト云フコトニ付テハ、之ニ伴フ弊害モアル、從來政府デハ其方法ニ付テハ大ニ苦心ヲシテ、色々試ミタノデアリマスルガ、唯一時其時値ガ上ルニ過ギナイ、借換ヲ了ルカ、發行ヲ了レバ、又公債ノ値ガ下ル、斯ウ云フ譯デアッテ、減債基金ト云フモノハ、本當ニ其用ヲ爲シテ居ラヌト云フ嫌ガアル、此度モ今御話ノ通り、減債基金デ公債ヲ一方ニ減ラシテ行ッタガ宜イデヤナイカ、サウシテ一方デハ公債ヲ募ッタヲ宜カラウ、斯ウ云フ御話デアリマスケレドモ、吾々ノ探ッタ方法ハ、減債基金デ公債ヲ買入レテ償却スルヨリハ、ソレガ爲ニ公債ヲ殖ヤサナイ方ガ宜イ、ソレダケ公債ヲ出シタコトヲ減ラシタ方ガ適當デアル、斯ウ考ヘテ減債基金ノ繰入ヲ中止シテ、一方ニソレダケノ公債ヲ餘計發行スルノヲ抑制シタ、斯ウ云フコトニナリマス

○西脇委員 サウナルト意見ノ相違デアリマスガ、減債基金法ハ政治的ニ言ッテモ、一面公債所持者ニソレダケノ金額ヲ拂フ、減債スルト云フ擔保ガアルカラ引受ケタノデアリマス、新ニ將來繰入停止ヲシテカラ後ニ公債ヲ引受ケタノハ別デアリマスガ、今マデノ人ハ現ニソレガアルカラ引受ケタノデアリマスカラ、法理的ニ言ヘバ、ソレダケ既得權ヲ害シタトカ、損害ヲ與ヘタトカ言ヘマセスガ、政治上カラ見レバ、甚ダ不都合ナコトデアッテ、何モ公債ヲ殖シテ置イタ方ガ、其減債基金法ノ性質ニモ背カナイシ、又公債所持者ニ不測ノ損害ヲ與ヘナイシ、斯ウ云フコトハ政治上ノ一種ノ公約デス、其政策ノ下ニ於テサウ云フ法律ヲ作ッタノデアルカラ、公約ニ反シテマデモ左様ナコトヲオヤリニナル必要ハナイヤウニ思ヒマスガ、其點ハモウ一遍ハキリ伺ヒタイ

○高橋國務大臣 ソレハ全ク實際ノ利害カラ打算シタ取扱方ナノデアアル、從來減債基金ヲ以テ公債ヲ市場カラ買入レル、市場カラハ時價デ買入レル、額面デ取ルモノハ、今ノ身元保證トカ云フヤウナモノデ、政府ガ取ッテ居ルモノハ、是其人ガ義務ヲ怠レバ政府ガ取ル、取ッタモノハ是ハ額面デ償還シテ行ク、併シ減債基金デ買入レルノハ、時價デ買入レルノデアリマス、公債ガ一方デ殖エルヨリハ、時價デ買入レルコトヲ止メタ方ガ、實際問題トシテハ私ハ所有者ノ爲ニモ宜カラウト思フ、新ニ公債ガ出ルカラコソ公債ノ市價ニ響クノデアアル、其出ル公債ヲ出來ルダケ少クシテ行クト云フ方ガ、減債基金デ時價デ買入レテヤルト云フヨリハ宜カラウ、尙ホ其上ニ公債ノコトニ付テハ、銀行諸會社ガ其公債ヲ持ツコトヲ甚ダ迷惑ガル、持チタイケレドモ、時價ガ始終變動シテ、他ノ株券ヤ何カト同ジヤウニ、其決算ノトキニハ、其日ノ市價ニ依ッテ積ラナケレバナラヌト云フノデ持チニクイノデアアル、ソレヲ今日改メテ行クカラ持チ良クナルノデス、公債所有者トシテハ、ソレデ却テ宜イ譯デアアル

○西脇委員 其點ハ其程度デ宜シウゴザイマスガ、今度ノ法律ニハ繰入停止ノ時期ガ當分ノ内トアリマス、當分ノ内ト云フノハ當分ノ内デセウガ、是ハ何カ其所ニ重大ナ意味ガアルト思ヒマスガ、此前原内閣ノ時分ニハ、軍艦製造ノ爲ニ減債基金繰入停止ヲヤッタコトヲ記憶致シテ居リマスガ、金額ハ忘レマシタ、確カ四年間デシタカ、實ハ今日法律ハ調ベテ參リマセスデシタガ、私ノ記憶デハ四年間位ト記憶致シテ居リマスガ、寧ロ斯様ニ百億ニ垂トシテ、或ハ百億ヲ突破スル、最近ニサウ云フ傾向ノアル財政狀態ノ時ニ當ッテ、毎年五億萬圓以上當分ノ内ハ募ラナケレバナラヌト云フ財政ノ計畫デアリマス、此時當分ノ内ト云ヘバ、矢張公債所持者、公債ニ應ズル者ガ非常ニ此點ハ心配シハシナイカ、出來ルナラバ寧ロ期限ヲ、何年間停止スルトカドウトカ、斯ウ云フ風ニオヤリニナッタ方ガ宜イヤウニ私ハ考ヘマスガ、大臣ハ其點ハドウ云フヤウニ御考慮ニナッテ居リマスカ承リタイ

○高橋國務大臣 當分ト云フコトハ、具體的ニ申セバ、切メテ財政ノ上ニ於テ赤字公債ガ無クナルヤウニナラナケレバ、減債基金ノ復活ハムヅカシカラウト思ヒマス、ソレデ當分トヤッタ、ソレカラ實際ハドウカト云フト、今日長期ノ公債ハ受付ケマセヌ、公債ノ發行ガ多クナルニ從ッテ——今ノ所デハ先ヅ七年ト云フノガ多い、公債ヲ發行スルニ當ッテハ、七年以上デハ皆困ル、短期ノモノヲ要求スル、ソレデ四十年トカ五十年トカ云フ公債ノ發行ガ出來ルヤウニナレバ結構デアリマスガ、今日ノ財界ハマダ總テ日本ノ財政ガ將來ドウナルカト云フコトニ付テハ安心シテ居リマセスカラ、成ベク短期ノモノヲ要求スル、已ムヲ得スカラシテ七年度ノ短期ノモノヲ今日ハ發行シマスガ、減債基金ノ復活ハ、財政上歳出歳入ノ均衡ヲ得ラレ、赤字公債ヲ以テ即チ通常ノ支出ニ向ケントスルト云フヤウナ事情ガナクナッタ時ニ、減債基金ヲ復活スル、斯ウ考ヘルカラ、當分ト云フ字句ニ付テ確カト年限ヲ決メルト云フコトハ出來ナイ

○西脇委員 モウ一ツ私承ッテ、後ハ留保シテ中村君ニ譲リマスガ、減債基金ノ法律ハ、大臣ノ御答辯ヲ承ッテ居リマ

スト、矢張重シテ居ラレルヤウニ思ヒマスガ、又一面何ダカサウ重シテ居ラレヌヤウニモ見エマス、將來ノコトヲ御尋スルノモ變デアリマスガ、今ノ御考ハ、此財政狀態ガ許サヤウニナッテ來レバ、矢張減債基金繰入ノ此制度ハ保存シテ置クガ宜イト、御考ニナッテ居リマスガ、ソレヲ一ツ明瞭ニシテ戴キタイ

○高橋國務大臣 ソレハ此前ノ議會ノ時デシタカ、確力議場デ言ウテ置イタ筈ダ、成ベク早く之ヲ復活シタイト云フコトハ其時カラ述ベテ居ル、今日デモ財政上許スナラバ速ニ之ヲ復活シタイト考ヘテ居ル

○西脇委員 私ハ後ハ留保シマス

○中村委員 私ノ主タル質問ノ要點ハ國債優遇問題デアリマスガ、只今西脇君カラ質問シタ點ニ付テ、其前ニ一二點御尋シタイト思ヒマス、大藏大臣ノ說明ニ依リマス、公債ガ百億以上ヲ突破シタ所デ、産業ガ振興スルコトニナレバ、ソレニ依ッテ民力ノ涵養ニナリ、歳入モ殖エルカラ、サウ心配スルコトハナイト云フ御話ノヤウデアリマシタガ、抽象的ニ言ヘバ洵ニサウデア

力ノ涵養ガ出來レバソレモ宜シイ、併シソレヨリモ成ベク公債ハ出サナイデ、サウシテ民力ノ涵養モ同時ニ出來ルト云フ方面ニ付テモ、色々御考ニナッテ居ルカモ知レヌケレドモ、先ヅ百億ヲ突破シテモ公債ヲ出スト云フコトニナレバ、第一其公債ノ價格ノ下落ト云フコトヲ考ヘナケレバナラス、又爲替相場ノ下落ト云フコトモ考ヘナケレバナラス、サウシマスルト云フト、丁度本會議デ田中君ガ質問シマシヤウニ、外國貿易ニ付テ非常ニ輸入超過ヲ來シテ來ル、然ルニ今日ノ狀態ハ、一向輸出ハ振ッテ居ラヌト云フヤウナ狀態デアルト云フコトニナリマスルト云フト、公債ヲ或ル程度マデ出シテ行ケバ、民力ノ涵養ニナルト云フコトニハ必シモナラナイ、對外國貿易等ニ付テハ、却テ逆ノ狀態ヲ呈シテ來ルト云フコトニナル、サウデアアルナラバ公債發行ト云フコトヲ今日大イニヤッテ居ルト云フコトガ、民力ノ涵養ニ必ズナルト云フコトニハ決シテ私共ハ考ヘナイノデアリマスガ、之ニ關聯シテドウ云フ御考ヲ御伺シマス

○高橋國務大臣 公債ヲ發行スルコトハ、民力ノ涵養ニナラヌト言ハレルガ、ソレハ公債ハ何ノ爲ニ發行スルモノデアルカト云フコトカラ、是ハ研究シテ掛ラナケレバナラス、政府ガ好ンデ何モ公債ヲ餘計出スト云フコトノナイト云フコトハ、勿論言フ迄モナイ、已ムヲ得ヌカラ出ス、已ムヲ得ヌ事情ガ此處デ無クナラナケレバイケナイ、滿洲事件ト云フモノガ、第一公債ノ大部分ヲ占メル、此事情ガ無クナラナケレバ、今日ノ國民ノ生活狀態デ、租稅ヲ以テ此非常事件費ヲ支辨スルト云フコトハ不可能ナ話デアアル、ドウシテモ公債ニ依ラナケレバナラス、ソレカラモウ一ツハ今ノ赤字公債デアリマス、是モドウモ已ムヲ得ヌ、國民ノ收入ガ減ッテ、總テノ點ニ於テ政府ノ歳入ガ減ッテ來ル、而シテソレニ準ジテ、ソレナラバ政費ヲ減スエトガ出來ルカト云フト、ソレガ出來ナイ、是モ已ムヲ得ヌ、其他ニハ特別會計カ何カニ屬シテ居ル事業公債、是ハ益、何處デモ殖ヤシテ吳レト云フ要求ガ多イノデアアル、此特別會計ナドニ屬シテ居ル事業公債、或ハ國有鐵道ニ使フ公債ト云フヤウナモノハ、其公債ニ依ッテ募ッタ金ヲ使ッテ、其事業ノ利益カラ自然ト元利償還スルモノノ產ミ出ス、ダカラ斯様な公債ハ國民ノ負擔ニハナラナイ、租稅ヲ以テ拂フ必要ハナイ、各、其事業ノ收益ヲ以テ拂フノデ、丁度會社ノ債券ト同ジ事デア

ル、唯茲ニ國民ノ負擔トナルモノハ、能ク世ノ中デ申ス不生産の公債、サウ云フ公債ニナルト、先ヅソレハ國民ガ負擔シテ行カナケレバナラスカラ、將來是ハ成ダケ出シタクナイ、併シ國ノ財政ガドウシテモ之ヲ發行セシムルコトヲ要スル以上ハ、是ハ避ケル譯ニ行カナイ、公債ハ殖エテ來マスケレドモ、私ハ生産の公債ヲ募集シテ得タ金ヲ使用サレ、其使用サレタ目的物カラ長イ年數ノ間ニ元利ノ償還ガ出來ルト云フナラバ、是ハ殖エテ差支ナイト私ハ考ヘテ居ル、唯公債發行ニ付テハ、國民ノ應募力ニ不相應ナ事ハ避ケナケレバナラス、同ジク公債ト雖モ、國民ノ直接負擔ニナル公債ハ殖シタクナイ、事業ノ利益カラ償還ノ途ノ、アル公債ト云フモノハ出シマスケレドモ、不生産の公債ハ成ベク出サヌヤウニシタイト考ヘテ居ル

○中村委員 必要ノナイ所ニ公債ハ出サヌト云フコトハ、是ハモウ勿論ノ話デアリマスシ、已ムヲ得ナイカラ出スト云フコトニナルコトハ、私モ承知シテ居リマスガ、其已ムヲ得ルカ得ナイカト云フコトノ考ヘ方ハ、是ハ人ニ依ッテ違ヒマセウガ、已ムヲ得ナイカラト云ウテ、無制限トハ申シマセヌケレドモ、已ムヲ得ナイト云フ名ノ下ニ餘計出スト云フコトガ、公債ノ洪水ト云フヤウナ結果ヲ來ス、却テ事業ヲ振興サセルヤウナ積リデ出シタ公債ガ、害

ニナルヤウナ結果ヲ來スト云フコトヲ、御話申上ゲテ居ルノデアリマスガ、今大藏大臣ノ御説明ニ依リマスルト云フト、滿洲ノ費用ノ如キハ是ハ已ムヲ得ナイ、ソレカラ赤字公債ノ如キモ是ハ已ムヲ得ナイ、事業公債ノ方ハ是ハ必シモ國民ノ負擔ニナラナイカラ、其分ハ宜カラウ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマス、事業公債ニ付キマシテハ、只今ノヤウナ御説明モ立チマセウ、然ラバ此滿洲事件ニ關スル費用ノ如キ、又赤字公債ノ如キ、之ヲ日本國內ノ負擔トシテ、公債ヲ出サナクテ濟ムヤウナ方法モアルノデヤナイカ、例ヘバ滿洲事件費ノ如キニ付キマシテモ、滿洲國ノ爲ニ其治安ヲ維持スルト云フコトニモ、大部分ガナツテ居ルト云フヤウナコトカラ考ヘマスルナラバ、其費用ノ如キモ滿洲國ニ負擔サセルト云フヤウナコトモ考ヘテモ宜イデハナイカ、又赤字公債ノ發行ノ問題等ニ付テハ、輸入關稅ダケノ増徴ハヤツテ居ラレマスケレドモ、直接稅ニ付テノ何等ノ考慮ヲモ拂ツテ居ラレナイノデアリマス、諸外國ニ於ケル所ノ狀態カラ見マシテ、其赤字ヲ消ス手段トシテ、相當ノ直接稅ノ増稅ヲ行ツテ居ルト云フヤウナコトハ、御承知ノ通りデアラウト思フノデアリマスガ、ソレ等ニ付テハ一向御考慮ヲ拂ツテオイデノヤウニハ承リマセ

ヌ、即チ斯ウ云フ非常ノ場合デアリ、國民ノ——申セバ將來ノ國民ニ負擔ヲ殘スト云フヤウナ國債ヲ發行スルト云フコトモ、一ツノ手段デアリマセウケレドモ、現在此苦シミノ中ニ沈ンデ居ル國民、而モ其中ニモ尙ホ擔稅力ノアル者ガ居ルノデアリマシテ、現在ノ人及將來ノ國民、此兩方ニ負擔セシメテ、此危急存亡ノ財政危機ヲ切抜ケルト云フ手段モ考慮サルベキモノデハナイカト私ハ思フ、之ヲ已ムヲ得ナイカラ、赤字ノアル間ハ公債ヲ出スト云フコトダケデハ、一方ニ偏シタ御考デハナイカト考ヘマスガ如何デアリマスカ

○高橋國務大臣 固ヨリ今御話ノ點ハ、増稅ノコトモ深ク考ヘテ居ル、外國デハ殊ニ亞米利加邊リデハ増稅ヲヤツテ、ソレデスラ中々議論ガアル、併シ我國デ餘裕ガアルト云フノハ、ドウ云フ所ニ増稅ノ餘裕ガアルト言ハレルノデアルカ、直接稅ト仰シヤルガ、今日ノ所得稅ナリ營業稅ナリハ、隨分堪ヘ切レヌ程ノ狀態ニナツテ居リマス、日本デ富豪ト云フコトヲ能ク言フガ、今日富豪ノ中デ尙ホ増稅ヲシタカラト云ツテ、ドノ位ソレニ堪ヘル者ガアルカ、富豪稅ト云フヤウナモノヲ今日課セレバ、或ハ幾ラカ取レナイコトハナカラウケレドモ、富豪ト云ツテモ、地方ノ富豪ハ田地、田畑、山林ヲ有ツテ居ル、是等

ハドウカ、皆苦ンデ居ル、能ク世ノ中ニハ三井、三菱ト言フ、是ハ今ドシナ風ニナツテ居ルカ、彼等ノ富ハ何ニナツテ居ルカ、皆是ハ生産工業、諸會社ノ株ニナツテ居ルデアリマセヌカ、之ヲ取上ゲル譯ニモイカヌ、ソレガ一體今日成ベク公債ノ發行ニ付テハ公募ヲ避ケルト云フコトハ、モット民間ノ事業ニ向ク方ノ資本ヲ殖ヤシタイ、政府ガ之ヲ取上ゲナイデ民間ニ事業ヲ興ス、其資本ガ入用ナンデスカラ、其資本ヲ十分ニ彼等ニ使ハシタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、外國ノ富豪ト日本ノ富豪トハ大分違フ、英國ナドデモ増稅ヲ致シマス、私ハ度々言フノデスガ、此間モ或ル外國ノ新聞ヲ見ルト云フト、彼方デ云フ「ミリオネア」日本デ云フト百萬長者デスガ、此不景氣ナル、世界不景氣ノ中ニ於テ、尙ホ英國ニ於テハ百萬長者ト唱ヘラレル者ガ四萬五千人アル、我國ニ何人アルカ、此上赤字公債ヲ埋メルダケノ稅ヲ拂ヘル力ハ私ハナカラウト思フ、ソレデ考ヘテハ居ルケレドモ、今日ハ先以テ増稅ニ堪ヘルダケノ力ヲ養フテ行クノガ本デアル、其本ヲ今拵ヘサシテ置ク、國民ノ懷ロニ餘裕ノ出來ルヤウニ——德國情ガサウ云フ風ニ違ツテ居リマスカラ、今日直チニ増稅ハ言フベクシテ行ヒ難イト私ハ考ヘテ居ル、ソレカラ滿洲事件ノコト、滿洲

國ヲシテ治安ヲ維持サシタラ宜イト言ツテモ、一體此滿洲事件ト云フモノハ、ドウ云フ事カラ起ツタカ、何ノ必要ガアツテ三萬、四萬ノ兵ヲ出シ、上海ニハ七萬ノ兵ヲ出シ、何ノ爲ニ一體日本ガヤッタノカ、斯ウ云フコトヲ能ク御考ニナツタナラバ、滿洲國ハ治安維持ハ自分デヤルガ宜イ、日本ハサウ云フコトニ付テ金ハ使ハヌト、斯ウ言ヘル譯ノモノデハナイ、滿蒙ヲシテ平和ノ天地ニスルト云フコトハ、單リ經濟上ノ關係バカリデハナイ、歐米ノ如キハ支那ニ對シテハ經濟上ノ關係ヲ主トシテ居テ、其外ニハ無イ、我國デハ此節能ク言ヒマスガ、滿蒙ト云フモノハ我國ノ存立ノ第一線ニナツテ居ル、國防上カラ言ツテモ國家生存ノ第一線ニナツテ居ル、ソコハ外國ノ關係ト大變違ツテ居ル、是ハ唯物好キニヤツテ居ル譯デヤナイ、モウ是マデヤツタカラ、後ハ滿洲新國家ガ勝手ニヤルガ宜イトヤリ。放ス譯ニハイカナイ、ソレデハ何故初カラア、云フコトヲヤツタカト云フコトガ分ラナイ、サウ云フ旨減法ニヤツタ問題デヤナイ、大關係ガアル、ダカラハ滿洲ハ最初ノ目的ヲ達シ得ルマデハ、又已ムヲ得ヌコト、私ハ考ヘル

○中村委員 直接稅ノ増稅問題ニ付テハ、私ガ此處デ申上ゲマシタノモ、赤字公債ニ屬スル全部ノモノヲ、今此處デ

國ヲシテ治安ヲ維持サシタラ宜イト言ツテモ、一體此滿洲事件ト云フモノハ、ドウ云フ事カラ起ツタカ、何ノ必要ガアツテ三萬、四萬ノ兵ヲ出シ、上海ニハ七萬ノ兵ヲ出シ、何ノ爲ニ一體日本ガヤッタノカ、斯ウ云フコトヲ能ク御考ニナツタナラバ、滿洲國ハ治安維持ハ自分デヤルガ宜イ、日本ハサウ云フコトニ付テ金ハ使ハヌト、斯ウ言ヘル譯ノモノデハナイ、滿蒙ヲシテ平和ノ天地ニスルト云フコトハ、單リ經濟上ノ關係バカリデハナイ、歐米ノ如キハ支那ニ對シテハ經濟上ノ關係ヲ主トシテ居テ、其外ニハ無イ、我國デハ此節能ク言ヒマスガ、滿蒙ト云フモノハ我國ノ存立ノ第一線ニナツテ居ル、國防上カラ言ツテモ國家生存ノ第一線ニナツテ居ル、ソコハ外國ノ關係ト大變違ツテ居ル、是ハ唯物好キニヤツテ居ル譯デヤナイ、モウ是マデヤツタカラ、後ハ滿洲新國家ガ勝手ニヤルガ宜イトヤリ。放ス譯ニハイカナイ、ソレデハ何故初カラア、云フコトヲヤツタカト云フコトガ分ラナイ、サウ云フ旨減法ニヤツタ問題デヤナイ、大關係ガアル、ダカラハ滿洲ハ最初ノ目的ヲ達シ得ルマデハ、又已ムヲ得ヌコト、私ハ考ヘル

○中村委員 直接稅ノ増稅問題ニ付テハ、私ガ此處デ申上ゲマシタノモ、赤字公債ニ屬スル全部ノモノヲ、今此處デ

増税ヲスルト云フコトニ付テ申上ゲタ
ノデハナイ、詰リ斯ウ云フ國家非常ノ
場合ニ於テハ、現在ノ國民モ、將來ノ
國民モ、共ニ當ルト云フ意味ニ於テ、一
部分ハ増税、一部分ハ國債、斯ウ云フ風
ニ分擔シテ行クベキモノデハナイカ、
ソレガ理論ニ適フタ方法デハナイカ、
之ニ就テノ御意見ヲ伺フタノデス、幾ラ
ノ増税ノ力ガ、今民間ニ餘力ガ有ルカ
無イカト云フコトヲ言フタノデハナイ、
ソレハソレ相當ノ額モ出マセウ、計算
ノヤリ方ニ依ッテハ、ソレハ色々アリマ
セウガ、額ノ問題ト云フコトヨリモ、寧
ロ理論ノ問題デス、國家非常ノ際ニ直
面シテ居ル現在ノ國民ガ負擔スルガ宜
シイ、ソレニハ直接税ノ増税モヤルベ
キデアル、諸外國ノ狀態モ其理論ニ立
脚シテ居ルデアラウト私ハ考ヘマス
ガ、サウ云フコトデヤッテ居ルノデハナ
イカ、此理論ニ付テ大藏大臣ハドウ御
考ニナッテ居ルカ、額ノコトニ付テハ、サ
ウ云フ餘地ガ無イト云フコトデアリマ
スガ、是ハ意見ノ相違ニナリマセウ、ア
ナタノ方デハ無イト云フ考カ知レマセ
ヌガ、私ノ方デハ全然餘裕ガナイトモ
考ヘテ居ラナイ、此點ニ付テ御答辯ヲ
願フト共ニ、滿洲事件費ノ問題ニ付テ
ハ勿論デス、滿洲ヲ擁護シテ行クト云
フコトハ、唯經濟上ノ問題バカリデナ
ク、政治上ノ重大ナル意義ヲ存シテ居
ルコトハ私モ存ジテ居リマス、承知シ
テ居リマスケレドモ、是ガ何處マデ行ッ
タラ結末ガ著クモノデアルカ、或ハ又
乘リ掛ケタ船デアルカラヤラナケレバ
ナラス、ヤラナケレバナラスコトハ勿
論私モ同感デアリマス、私ハ先程モ質
問ヲ致シマシタガ、今日マデハ其儘ニ
シテ置イテ、後ハドウナッテモ宜イト云
フ考ヲ持ッテ申上ゲタノデハナイノデ
アリマス、其ヤラナケレバナラスト云
フコトニ決心ガ決マルコトニナレバ、
一體將來ドノ位マデ行カナケレバナラ
スカ、今日一億九千幾ラト云フモノヲ
要求サレテ居ルノデアリマスガ、此金
額ノ外ニ來年モ、再來年モ、亦其次モト
云フコトニナッテ來ルノデアリマシテ、
是ハ滿洲國ノ治安ヲ日本ガ維持シナケ
レバナラスト云フコトハ洵ニ當然デア
リ、又サウシナケレバナラスノデアリ
マスケレドモ、今日ノ狀況カラ考ヘレ
バ、非常ナ日本ノ重大問題デアルカラ、
其問題ヲ處理シテ行ク上ニ付テハ、將
來ドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居ルカ、來
年ハ幾ラ要ルカ分ラナイガ、今年一年
ダケハ出スト、唯漫然タルサウ云フ御
考デ行カレルノデアリマスガ、外ノ公
債ト併セテ來年ハ此位、再來年ハ此位
デ、是ハドノ位ニ行クト云フ御計畫ヲ
御持チニナッテ居リマスガ、ソレヲ承ラ
ンガ爲ニ今御伺シタノデアリマスガ
ラ、ドウカ滿洲問題ハ將來ハシナイデ
モ宜シイノダト云フヤウナ御考ノナイ
ヤウニ、誤解ノナイヤウニ願ヒマス
○高橋國務大臣 將來ドノ位公債ガ出
ルカト云フコトハ、今ハッキリ洞察シテ
言ヘルモノデハナイ、確ニ是ダケダト
言ヘル人ハ勿論アリマス、分ラヌ、
滿洲新國家ガ自ラ此人命、財産ヲ安固
ニ保安ガ出來ルカ、費用モ自ラ賄ヘル、
決シテ他カラ侵サレルヤウナ心配ガナ
クナルト云フ時ニハ、滿洲國家ノ經費
デ行クノデスケレドモ、今日御承知ノ
通り處々ニ匪賊ガ現ハレル、ソレヲ滿
洲國家ノ力ダケデハ、是ハ治メルコト
ハ出來ナイカラ、我ガ兵隊ガ出テ生命
ヲ失ッテヤッテ居ルヤウナ譯デアルカ
ラ、ソコマデ御分リニナッテ居レバ、其
問題ハソレデ宜イガ、ソレガ爲ニ將來
マダ我國ガ犧牲ヲ拂ハナケレバナラス
ト云フコトヲ、數字的ニ申上ゲルコト
ハ、是ハ出來ナイ話デアアル、如何ニ發展
スルカト云フコトハ、將來ニナッテ見ナ
ケレバ分ラヌ、其時ニナッテ見ナケレバ
分ラヌ、今はダケ世話スレバ、後ハ
澤山ダト云フ見込ハ立タヌ、ソレカラ
理論トシテハ、公債ナルモノハ將來ノ
國民、我ガ子孫ニマデ其利益ガ及ブモノ
デアルナラバ、利益ヲ受ケル人ガ負擔
ヲスルノモ、是ハ當然ナ話デアアル、現在
ノ人バカリガ負擔シナケレバナラスモ
ノデハナイ、併シ現代ノ者ダケデ將來
ニ利益ガ及バヌ、將來ノ人ニ徒ニ重荷
ヲ持タセルノダト云フヤウナコトハ、
少シハ煩ヒガアッテモ、現代ノ人ニ之ヲ
持タセルト云フコトガ理論上御尤デ、
其通りデアアル、少シモ理論ニ於テハ
ナタノ仰シヤルコトハ私ハ差支ナイト
思フ、併シ諸君其實行如何ト云フコト
ニナルト、サウバカリハ考ヘテ居ラレ
ナイ、ソレデ私ハ税ノコトニ付テハ、先
以テ懷ロヲ肥マシテ、國民ニ擔税ノ力
ヲ持タシテ、サウシテ是カラ取ル、無イ
所カラ取ルト云フコトニナルト益、疲
弊シテ行ク、富豪ガアルト云ッテモ、前
申ス通り日本ノ富豪ト云フモノハ、今
日資本トシテ働カセル力ヲ持ッテ居ル
富豪ト云フモノハ少イ、田畑、山林ヲ
持ッテ居ル富豪デモ今日苦シデ居ル、此
上増税ヲスルドコロデハナイ、却テ田
地、田畑、山林、サウ云フモノヲ資金化
シテ、活動サセテ、培養シナケレバナラ
スト云フ時代デアアル、之ニ向ッテ今税ヲ
課スルノハ——彼等カラ見レバ、寧ロ
負擔ヲ輕クシタイト云フノガ、一般ノ
希望ダラウト思フ、其他商工業ニ從事
シテ居ル富豪ト雖モ、此赤字公債ノ幾
分デモ埋メルダケノ増税ヲシタラ宜シ
カラウト云フ御意見ダケレドモ、ソレ
ハ尙ホ早イ、モット彼等ニ利益ヲ起サセ
ル所ノ途ヲ開イテ、サウシテ喜ンデ納

税ノ義務ヲ果スコトガ出來ルヤウニスルノガ政治ノ要諦チヤアリマセスカ、苛斂誅求ハ宜シクナイ、納税ノ義務ヲ國民ニ知ラセル、成程是ナラ國家ノ爲ニ是ダケノ税ヲ納メテ宜イト云フ、進ンデ納メルヤウニナツテ、初メテ其義務ヲ果スコトガ出來ルノデアル

○中村委員 滿洲國ノ問題ノ將來ノ經費ガ、將來ノ事ダカラ分ラヌト云フ御話デアリマスガ、成程將來ノ事デアリマスカラ、分ラヌト云ヘバ分ラヌデアリマセウ、併シ矢張將來ニ對スル財政計畫トカ、公債計畫ト云フモノハ、御持チニナツテ居ルノデハナイカト思ヒマスガ、滿洲國ノ其問題ガ分ラヌカラ、將來ノ財政計畫モ分ラヌト、斯ウ云フヤウナ意味ノ御話デアリマスガ、其點ダケヲ御確メシテ置キマス

○高橋國務大臣 財政計畫ト云フモノハ、今ハ公債ヲ出スヨリ外途ハナイ、滿洲事件費ニ對シテハ、一般租税ヲ以テ支辨スルコトハ出來マセスカラ、矢張公債ヲ發行シテ行クノデアル

○中村委員 其點ヲ聽イテ居ルノデハナイ、現在ノ狀態ヲ以テ、ドノ位ノ公債ヲ出サナケレバナラヌカト云フ計畫ヲ聽クノデアル、併シ漫然行當リバツタリデ宜イ、サウ云フ御心持デアリマスカタ、時々形勢ガ變テ來ル、既ニ此豫算

ヲ編成スル前ニ於テモ、先ヅ一箇年ニ億位アレバ宜カラウ、是ハモウ吾々ハサウ云フヤウニ考ヘテ居ッタ、ソレガ中中ソレデ濟マス、非常ニ變化ガアルノダカラ、ドノ位公債ガアッタ足リルカト云フコトハ、確定的ニハ言ヘナイ話デアル、成ベク海陸軍ヲ初メ無駄ナ費用ノナイヤウニ十分ニ注意シテ居ラレ

○中村委員 公債ノ問題ニ付キマシテハ其位私ハ打切りマス、而シテ公債優遇案ニ付テ大藏大臣ニ御聽キシタイノデアリマス、今度ノ優遇案ノ骨子ハ、日本ノ公債ノ全部ノモノニ付テ、發行價格ニ依ル記帳ヲ認メルト云フコトニ

ダツテ居ルノデアリマスガ、全般的ニ之ヲヤラウト云フ御考ヲ御持チニナツタト云フコトハドウ云フ譯デスカ、一部特殊ノモノ、特ニ必要ナルモノダケニ之ヲ限ルト云フコトハ、從來モ例ガア

○高橋國務大臣 公債全部ト云フコトニナツテ居ナイ、先ヅ外債ハ除イテアリマス、又此法律ノ出ヌ前ノ公債、既發ノ公債ニ付テハ其銀行、諸會社ノ考課狀ニ載ッタモノヲ以テ、ソレヲ取得價格ト認メテ居ル、額面ト云フ意味チヤナイ、此法律ガ出タ後ノ公債モ、例ヘバ額面百圓ノモノヲ八十六圓デ政府ガ發行スル、サウスルト銀行、諸會社ガソレヲ八十六圓デ取得シタ、其取得シタ價格マ

○中村委員 既發ノ公債ニ付テハ最後ノ表示價格——時價ヲ以テスル、是モ分ツテ居リマス、外國ノモノニハ適用サレヌコトモ承知シテ居リマス、詰リ今ノ方針ヲ以テ發行スル所ノ將來ノ公債ニ對シテ、全部發行價格主義ヲ執ルト云フコトニナリマス、時價ガ下ツタ場合ニ於テハ、其決算面ニ現ハレテ居ル國債ノ價格ト云フモノハ、嘘ノ價格ガ現ハレテ居ルト云フコトニナル、詰リ發行價格ト時價トノ差額ガ其處ニ生ジ

タ場合ニ於キマシテハ、例ヘバ七十億ノ公債ガ發行サレテ居ルト致シマス、其七十億ニ一割ノ時價ト發行價格トノ差ガアルトスレバ、七億萬圓ト云フ嘘ノ決算書ガ出テ來ルト云フコトニナル、其嘘ノ決算書ヲ出スト云フコトハ、言葉ヲ換ヘテ言ヒマス云フト、ソレダケノ蝟配當ヲスル、利益ノナイニ

モ拘ラズ、唯帳面ニ付ケタダケノ利益ヲ、架空ノ利益ヲ配當シテモ宜シイト云フコトヲ、國法ヲ以テ認メタト云フコトニナル、是ハ非常ニ重大ナ問題デハナイカト思フ、隨テサウ云フコトヲ國法ヲ以テ許スト云フコトニナリマスル時ニハ、是ハ公債ノ評價ニ關スル問題ニ止マラスト私ハ考ヘル、ドノ會社デモ銀行デモ苦シイノデアルカラシテ、成ベク株主ノ歡心ヲ買フヤウナ利益ダ

○高橋國務大臣 此公債ノ時價ト云フ

ケハ出シタイト云フヤウナ考ヲ持ツコトハ人情デアリマス、サウ云フ場合ニ於テ、公債ハ幸ニシテ國法ヲ以テ架空ノ利益ヲ出スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルト云フコトニナレバ、他ノ有價證券、商業手形其他ノモノ等ニ付テモ、自然ト引入レラレル心持ニナツテ來ルコトハ、是ハ當然ト見ナケレバナ

ラス、サウ致シマス云フト、唯公債ノ發行價格ト時價ガ一割差ガアル場合ハ七億萬圓、二割差ガアッタシテ十四億萬圓ノ架空ノ利益ヲ蝟配當シテ宜シイト云フコトニ止マラス、一方ニ於テハ商業手形其他ノ有價證券等ニ付テモ、此ヤリ方ト云フモノハ滔々トシテ流れテ行クト云フ結果ヲ來ス、是ハ產業界ニ於テ重大ナ結果ヲ及ボスコトニナリハセスカト私ハ思フ、之ニ就テノ大藏

大臣ノ御考ハ如何デアリマス

モノハ、將來下ルトバカリ申ス譯ニモ行カス、又時價ガ上ルコトモアリマセウ、又他ノ有價證券ト國債ト同視スルト云フコトモ、是ハ間違ッテ居ル、日本ノ國債ト云フモノガ反古紙同様ニナレバ、矢張國ハ亡ビル、國債ハ國ト同様に活キテ行クモノデアル、而モ此公債ホド有價證券トシテ確實ニ確ナモノハナイ、公債ヲ發行シタ其國ガ其公債ヲ拂フコトガ出來ヌト云ヘバ、其國ハ破産スルノデアル、既ニ此優遇法ニ於テハ、明治三十八年ニハ軍事公債ト云フモノハ、矢張此通り優遇サレタノデアル、私ハ今度ノ公債ヲ優遇スルニ付テハ、弊害ハ起ラヌト考ヘテ居ル、今御引證ニナツタ所ノ他ノ商業手形トカ、債券トカ、株券トカ云フヤウナモノナラ蝟配當ニナル、是ハソレレ、皆監督ガアル、總テ考課狀ナドヲ出ス會社ニ付テハ、其内容ニ付テ監督ヲシナケレバナラス、蝟配當ノ弊ガ出ルナラバ、其蝟配當ト云フモノ、因ッテ起ル本ヲ、經營ガ惡イカ、重役ノヤリ方ガ惡イノカ、或ハ株主ガ唯一時ノ利益ヲ得テカラニ、會社ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトヲ忘レテ居ルカ、斯ウ云フコトガ皆伴ッテ居ル、ソレヲ監督スル者ハ嚴重ニ監督シテ行カナケレバナラス、今公債優遇法ヲ立ツタカラ、總テサウ云フコトガ「ルーズ」ニナツテ行クトハ私ハ考ヘナイ

○中村委員 弊害ガ起ラナイト云フコトヲ言ハレマシタガ、時價ヨリ上ルカモ知レナイ、併シ將來百億モ百何十億モ公債ガ殖エテ、サウシテ減債基金ノ繰入ガ停止サレテ行ク、斯ウ云フ狀態カラ考ヘテ行クト、非常ニ國債モ上ッテ行クト云フコトモ亦考ヘラレル、隨テ產業界ノ利益ノ表示ノ仕方ニ於テ、又決算ノ仕方ニ於テ、堅實ニシテ行クト云フコトガ必要デアリ、又サウシナケレバナラスト思フノデアリマス、其場合ニハ下ツタ時ノ事モ考ヘテ置カナケマス、七億萬圓ト云フモノハ完全ニ架空ノ利益ガ出テ來ルノデアル、蝟配當ニナル、大藏大臣ハ蝟配當ニナラヌト仰セラレマスガ、一割差ガアレバ七億萬圓、二割差ガアレバ十何億ト云フモノガ蝟配當ト云フコトニナリ行ク、是ハ想像ノ問題、議論ノ問題デハナイ、現實ニサウナツテ行ク、ソレデモ弊害ガ起ラヌト仰セラレマスガ、又他ノ有價證券ハソレレ、監督官廳ガアルカラト云フ御話デアル、銀行ヤ或ハ他ノ會社等ニ於キマシテハ、相當監督ノ機關モ備ハツテ居リマスガ、一般ノ商業會社ニ於テハ、若シ監督官廳ガアルト云ヘバ稅務署バカリデアル、他ノ官廳ハ殆ド手ヲ入レヌ、決算マデモ監督シテ居ル所ハナイ、ソレガ殆ド大部分デアル、サ

ウ致シマス稅務署ノ方ハ、餘計利益ヲ表示シテアルモノハ、御承知ノ通りヤカマシク言ヒマセヌ、少ク表示シテアル場合ニ於テハ、是ハ脫稅ダト云ウテヤカマシク言ヒマス、多ク表示シテ蝟配當ヲ爲シテ居ル場合ハヤカマシク言ハヌ、サウ致シマス、其弊害ト云フモノハ盛ニ助長サレテ行クト云フ結果ニナル、又他ニ監督ノ方法ガアリマス、恐クハ私ハナカラウト思フ、サウ致シマス結局稅務署ハ喜ブ、歡迎スル、監督官廳ガサウ云フコトニナツテ行ッタナラバ、其弊害ハ單リ國債ヲ持ッテ居ル人ダケニ止マラス、斯ウ云フ弊風ト云フモノハ、一般ノ產業界ニ擴ガツテ行クト云フ結論ニナリハシナイカト思ヒマス、此點ハ如何デアリマス

○高橋國務大臣 凡ソ會社デナクトモ、個人デモ營業ヲシテ行ク者ハ、先以テ自ラ其營業ヲ永續スル爲ニ堅實ニスルト云フノニハ、自分デ自ラ監督ヲシナケレバナラス、其心得ガナケレバナラス、其不心得ノ者ガアツテ、蝟配當ヲスルト云フコトデハ、決シテ世ノ中ハ許ス譯ノモノデナイ、各會社デアレバ、蝟配當ヲシタモノハ、其時ノ重役ヤ何カニ自カラ責任ト云フモノガアツテ、僞ルコトニナル、唯公債ニ付テハ、是迄ニ發行ヲスル公債ガ時價ガ一寸下ルト云フト、僅ノ間ノ——半期ノ間ノ利益ヲ以テ時價ノ下ツタモノヲ埋メテ行カナケレバナラス、茲ニ公債ヲ持ッタイケレドモ苦痛ガアツテ持ッナイト云フ狀態デアル、其苦痛ヲ除イテヤルノデス、之ニ依ッテ蝟配當ヲスルト云フ譯デハナイ、各會社ヲ經營スル者ハ、他カラ言ハレル迄モナク、監督サレル迄モナク、其會社ノ信用ヲ維持スル爲ニハ堅實ニシナケレバナラス

○中村委員 今ノ大藏大臣ノ御言葉デアリマス云フト、全ク私ハ矛盾スルデハナイカト思フ、詰リ會社ノ決算ノ表示ト云フモノハ、信用ヲ維持スル爲ニ堅實ニシテ行カナケレバナラス、ソレハ寔ニ其通りデアル、サウデアラナラバ、時價ノ方ガ公債ヨリモ下ッテ居ル場合ニ於テ、國法デ以テ架空ノ計算ヲシテ宜シイト云フコトニハナラス譯デアル、蝟配當ヲヤツテモ宜シイト云フコトヲ國法デ誘フト云フコトハ、非常ニ惡イコトデアル、信用ヲ無クスト云フコトニナルノデハナイカト思フノデアリマシテ、ソレデ此時價ノ下ツタヤウナ場合ニ於キマシテハ、考課狀ノ上ニ於テハ相當ノ利益モ出、缺損モ出ナイト云フ恰好ニナツテ居リマシテ、其時價ガ相當ニ下ツテ行ク、一割、二割、三割下ッテ行ッタヤウナ場合ニ於テハ、全ク公債ヲ持ッテ居ル所ノ會社銀行ニ對シテハ、世間ノ人ガ其考課狀ヲ見テ信用ヲ置ケ

滿洲事件ニ關スル經費支辨
ノ爲公債發行ニ關スル件

ナクナル、即チ公債ヲ持ッテ居ルカラシ
テ、却テ世ノ中ノ信用ヲ失フト云フヤ
ウナ奇現象ヲ呈シハシナイカト思ヒマ
ス、即チ發行價格マデハ表示シテ宜イ
ノデアリマスカラ、ドンノ發行價格
マデ出シテ居ル、所ガ時價ハ一割モ三
割モ下ッテ居ル、内容ニハ缺損ガアル、
帳面上ハ大藏省モ認メテ居ル、發行價
格ニ依ル所ノ評價法ガアルカラ、表面
ニハ缺損ハ出ナイ、利益ガ出テ來ル、斯
ウ云フコトニナルト云フト、ソレヲ世
間ノ人ガ一般ニ知リマスと云フト、公
債ヲ持ッテ居ル所ノ銀行會社ニ對シテ
ハ、世間ノ人ガソレヲ信用セスト云フ
コトニナル、信用シナクナルト云フコ
トハ、却テ國債ヲ持タヌ方ガ宜イト云
フ氣持ヲ與ヘルコトニナル、サウデア
ルナラバ、公債ヲ優遇セント欲シテ出
サレタル所ノ此法律案ナルモノハ、却
テ公債ヲ虐遇スル案ニナリハシナイ
カ、結論ハサウ云フコトニナルノデヤ
ナカラウカト私ハ思ヒマス、此點ハ如
何デアリマセウカ

フモノハ極ク小サクテ濟ムコトニナ
ル、是ハ各國ノ例ニ依ッテモ明カデアリ
マス、公債ノ値段ノ變動ト云フモノハ
少イ、ソレハ何故カト云フト、公債ホ
ト確カナモノハナイノデアリマス、他
ノ有價證券ト違ッテ國ガ支拂ノ義務ヲ
持ッテ居ル、國ガ潰レヌ以上ハ期限ガ來
レバ額面ノモノガ手ニ這入ル、取得價
格ダケハ考課狀ニ於テ認メテヤルコト
ニナッテ居ル、アナタノ御考ノヤウナ弊
害ガ起レバ、却テ公債ノ市價ト云フモ
ノハ安定ヲスル、サウシテ世間ノ見ル
所モ、公債ヲ持ッテ居ル會社ナラバ是ハ
確カダ、何時デモ公債ト云フモノハ金
融ノ一番ノ具ニナル、預金スル者ニ於
テ金ヲ取ラウトシテモ、アノ銀行ニハ
公債ガ澤山アルカラ、預金支拂ニ不自
由ガナイト云フ安心ヲ與ヘルト云フコ
トニナル、見様ニ依ッテハ公債ガ百三十
億モ出ルトカ、或ハ一割下ッタ、又記帳
價格ダケ出ヌト云フヤウニ、悲觀シテ
言ヘバ何トデモ言ヘマスケレドモ、私
ハ實際ニハソソナコトニハナラヌト思
ヒマス

スレバ、ソソナニ幅ガ少イモノデア
ナラバ、何ヲ好ンデ發行價格ニ依ッテ記
帳價格ヲ認メルト云フヤウナコトヲ法
律デ出ス必要ガアリマス、ソレ程幅ノ
小サイモノデアアルナラバ、抛ッテ置イテ
モ宜イ筈デアアル、市價ト發行價格ノ差
ガ餘リナイト云フコトデアアルナラバ、
此法律ヲ御出シナサラナクテモ、結局
發行價格位ニ默ッテ居テモ記帳價格ガ
ナッテ行ク、サウデアアルナラバ此法律
云フモノハ有名無實、效能ノ無イ法律
デアルト云フコトヲ、自ら認メルコト
ニナル所ノ答辯デアアル、私ハサウハ思
ハナイ、其差額ガ生ズレバコソ、此法律
案ヲ出シテ置イテ、サウシテ記帳價格
ヲ發行價格ノ程度ニ止メテ置カウト云
フ、其優遇ノ御意思モ此處ニアルト思
ヒマス、差ガアレバコソ此法律ガ必要
デアアル、差ガナケレバ斯ウ云フ案ヲ出
ス必要ガナイノデアアル、ソレデ差ガア
レバコソ、今私ガ申上ゲル所ノ所謂虛
僞ノ表示ト云フコトニナル、虛僞ノ表
示ト云フコトニナッテ來レバ、ソレダケ
蝸配當ヲ獎勵スルコトニナル、延テハ
一般財界ニ及ボス影響モ考ヘナケレバ
ナラヌト云フ點ヲ御尋シタ積リデアリ
マス

市價ガ下レバ、其次ノ半期ノ利益ガド
ウナルカ分ラヌ、ドウシテモ公債ガ高
クナル、サウスレバ公債ヲ持ッテ居タイ
者モ其時ニ賣ル、ソレデ公債ノ市價ト
云フモノハ變動ガ激シクナルノデアリ
マス、此法案ニ依ッテ行ケバ、取得價格
マデハ考課狀ニ載セルコトガ出來ルカ
ラ、公債ノ市價ガ高クナッテモ安心シテ
持ッテ居ルコトガ出來ル

○中村委員

大分押問答ノヤウデアリ
マスガ、モウ一步進ンデ私ハ御尋シタ
イト思ヒマス、國債ヲ安心シテ持ッテ
本當ニ國債ヲ優遇スルト云フコトナラ
バ、記帳價格ダケヲ發行價格ニ依ッテ認
メルト云フコトダケデハ、私ハ目的ヲ
達シナイト思ヒマス、何故モウ一步御
進メニナラナイカ、即チモウ一步進
ンデ、此銀行會社ガ清算デモシタヤウ
場合、會社ヲ廢メテ清算デモシタヤウ
場合ニ、發行價格ヲ以テ之ヲ買取ッテ
ヤルト云フヤウナコトモ、最モ必要ナ
一ツノ優遇ノ方法デアルト思ヒマス、
又日本銀行ガ貸出ノ割合ヲ、何故發行
價格マデ御引上ゲニナラナイカ、割引
シテ貸シテ置クト云フヤウナコトデ、
唯帳面ニ付ケル數字ダケヲ發行價格マ
デ付ケテ宜イト云フ話デアアルガ、ソレ
ハ丁度紙袋ヲ與ヘテ實ヲ遣ラヌト云フ
コト、同ジデアアル、モウ一步進ンデヤ
ルナラバ、今ノ清算ノ場合ニ發行價格

○高橋國務大臣

ソレハ全ク見様ノ違
ヒデス、公債ヲ斯ウ云フ風ニ安心シテ
持ッテ居ルヤウニシテヤレバ、公債ノ市價
ト云フモノハ、他ノ株券ノヤウニ始終
動搖ノ激シクナルト云フコトハ無クナ
ルノデス、凡ソ公債ト云フモノハ、値段
ノ上リ下リガアッテ見タ所ガ、其幅ト云

○中村委員

今大藏大臣ハ洵ニ樂觀的
ナ御答辯デアリマシテ、今ノ御話ノ中
ニ、國債ト云フモノハ極ク上リ下リノ
幅ノ少イモノデアアル、隨テソソナニ一
割モ二割モト云フ幅ガナイト云フ御話
デアリマシタガ、果シテサウデアルト

○高橋國務大臣

此國債優遇法案ト云
フモノハ、安心シテ公債ヲ持ッテ居
ルノガ趣意デアリマス、今迄ノヤウニ

ヲ以テ引取り、日本銀行ノ貸出ノ割合ヲ發行價格マデ出シテヤル、モウ一步進シテ納稅代用ニ利用スル場合ニ額面デナクトモ、少クモ其發行價格ダケヲ以テ之ヲ納稅ノ代用ニ認メテヤル、ソコ迄ヤツテコソ始メテ本當ノ優遇ニナルダラウト思フ、時價ハ下ッテ居ル、併シ帳面ヅラダケハ發行價格デ付ケテ宜イト云フノデハ、紙袋ヲ貰フタノト同ジデ、何等利益ニナラナイ、何故モウ一步進シテソコ迄オイデニナラナカッタカ、是デハ唯形式的ノ、形ノ上ダケデノ優遇方法デ、實ノアル優遇ニナツテ居ラヌ

○高橋國務大臣

ソレハアナタノ御考ト私ノ考ト違フノデ、成程納稅ニモ公債ヲ發行價格デ取ツテヤル、日本銀行デ貸スノモ發行價格デ貸シテヤル、斯ウ云フコトハ宜イニ違ヒナイ、併シ實際、假ニ納稅者ガ公債ヲ持ッテ來タ時分ニ政府ガソレヲ買ヒマスカ、又銘々責任ノアル銀行諸會社ハ、共ニ、自分ノ營業上ニ於テ日本銀行ガ市價ヲ見テ貸ス、市價ヲ見テ貸サナイデ、何時デモ取得價格デ貸スト云フコトニナレバ、ソコニ緩ミガ出ル、唯此半期々々ノ決算ニ於テ、僅カナ時間ニ於テ公債ノ値ガ下レバ、其半期ノ利益ヲ以テ埋メナケレバナラヌト云フコトハ、苦痛デアルカラ、持チタイ人ガ持テナイ、其苦痛ヲ除

クノデス、今日デモサウデセウ、何故公債ノ市價ガ高クナルカ、他ノモノハ下ッテ居ルカ、公債ニハ信用ガアルカラデアル、一番變動ノ少イノハ今日デモ公債デセウ、今ノ市場デモ他ノ有價證券ハ非常ニ差ガアルニ拘ラズ、公債ハソレ程下ラス、ソレハ何かト云フト、安心出來ルカラデアル、公債程確カナモノハナイト云フコトヲ思ッテ居ル、併シ其確カナモノヲ持チタイケレドモ、奈何セン半期々々ノ考課狀ニ於テ其時價ヲ積ラナケレバナラヌ、ソレガ苦シイカラ、公債ヲ持チタイケレドモ持テナイ、斯ウ云フ狀態デアル、其一時ノ苦ミヲ除イテヤルノデアリマス

○中村委員

公債ヲ持チタイケレドモ、半期々々ニ時價ニ依ッテ見積ラナケレバナラヌノガ苦シイカラ、持チタイケレドモ持ツト云フヤウナ意味デアリマス、ソレハ即チ時價ト發行價格ニ差ガアルカラデアルト云フコトニ歸著スルト思ヒマス、先程大藏大臣ノヤウニ、上リ下リガ少イカラ、大シタ違ヒハナイト云フコトデアルナラバ、其苦ミハナイ筈デアリマス、其苦ミガアルト云フコトハ、即チ發行價格ト時價ニ差ガアルカラノ苦ミデアリマス、サウデアラナラバ其差額ガアル時ハ、先程申シマシヤウニ蛸配當ガ茲ニ起ッテ來ルト云フコトヲ、自ラ是認スル結果ニ

ナルト言ハナケレバナラヌ、又實質上之ヲ優遇シテヤラウト云フコトデアルナラバ、記帳價格ニ付テヤッタノデハ優遇ニハナラヌ、モウ一步進シテ日本銀行ガ之ニ對シテ發行價格マデ貸シテヤリ、納稅ノ代用ニモヤツテヤル、或ハ生産ノ過剩ノ際ニハ、之ヲ買上ゲテヤルト云フコトマデヤツテ行カナケレバ、本當ノ安心ハ出來ナイ、半期々々ノ發行價格デ胡麻化シテ、清算ノ場合ニ大缺損ヲ出サナケレバナラヌト云フコトデアレバ、安心シテ公債ハ持テナイ、大藏大臣ノ言ハレル如ク、本當ノ安心ヲ與ヘテヤラウト云フナラバ、實際價格マデ行カナケレバ徹底シナイ、斯ウ云フ結論ニナルト思フガ如何デアリマス

○高橋國務大臣

幾度御答シテモ同ジデスカラ、御答シマセス

○岡田委員長 今十二時デアリマスガ、拓務大臣ニ質問ガアリマスレバ：

○池田(敬)委員 此際拓務大臣ニ伺ヒタイト思ヒマスガ、滿洲事件費ニ付テハ、先程來委員カラ質問ガアリマス如ク、重大ナル意義ヲ有シテ居ルノデアリマシテ、此重大ナル意義、即チ吾々が多大ナル負擔ヲシテ滿洲國ノ爲ニ盡シ、之ニ就テハ單リ滿洲國ノミナラズ、我國ノ國是ノ上ニ於テ重大ナル關係ガアルト存スルノデアリマス、所デ從來

我國ガ滿洲ニ於テ、單リ經濟的ノミナラズ、日清、日露ノ兩戰役ニ於テ、多大ナル生命ヲ堵シテ戰ツタ所ノ地域ニ於テ、ソレ程苦心シテ色々經營シテ居ルニ拘ラズ、實際ヲ見マスルト云フト、内地人ガ彼地ニ行ッテドレダケノ仕事ヲシテ居ルカト云フト、甚ダ遺憾ニ堪ヘヌコトガ多い、過日本會議デ朴春琴君ガ演說ヲ致シタ中ニモアリマシタガ、是等ハ主トシテ鮮人ノ苦シイ立場カラ申シタコトデモアリマスルガ、要スルニ内地人ハ向フニ行ッテドレダケノ仕事ヲシテ居ルカト云フト、洵ニ寥寥タルモノデアアルノデアリマス、就キマシテハ今回ノ事變ニ引續イテ何レ滿洲國ノ承認トナリ、又我國カラノ使節モ駐劄サレルコト、思ヒマス、就テハ我國ニ於テ年々百萬人以上モ増加シテ居ル人口問題ヲ解決スル上カラシテモ、ドウシテモ内地人ヲ何方カニ出サナケレバナラヌ、米國其他ニモ移民ヲスル方法モアリマスケレドモ、手取り早イ所デハ、滿洲ガ最モ適當ナ處デハナイカト心得マスルガ、是ガ、行ッテモ結局ノ效果ガ薄イト云フコトデハ、洵ニ我國ノ負擔ノ重イニ拘ラズ、其效果ハ寒心ヲシナケレバナラヌト心得マスルノデ、之ニ對シテ政府ハ將來ドウ云フ考ヲ持ッテ居ラレルカ、此機會ニ伺ヒ

タイト思フ次第アリマス

マシテハ、滿洲ノ未開發ノ富源ヲ開發

ル爲メデアリマス、政府ト致シマシテハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

○永井國務大臣 滿洲ニ出テ居リマス

スルト云フコトハ、日本人ニ取ツテモ、

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ル日本人ガ、内地人ノ數ガ、朝鮮人ニ較ベレバ非常ニ少イコトハ御話ノ通りデアリマス、又朝鮮人モ今日以上ニ滿洲ニ出テ生活ノ機會ヲ得ルヤウニスル必要ノアルコトモ申上ゲルマデモアリマセヌ、然ルニ從來ハ御承知ノヤウニ

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

滿洲ニ於ケル政府當局者ガ、寧ロ日本人ノ滿洲ニ移住スルコトヲ妨害スルヤウナ態度ニ出テ居リマシテ、日本人ノ土地商租權モ屢々蹂躪サレテ居リマシテ、又日本人ノ滿洲ニ於ケル企業ハ不當ナ壓迫ヲ受ケテ居リマシテ、日本人ノ滿洲ニ於ケル商業ハ不法ナル課稅ヲ課セラレテ、其爲ニ非常ニ發展ヲ妨ゲラレテ居リマシテ、移民ノ如キモノモ屢々生命財産ノ危害ヲ被ツタノデアリマシテ、今滿洲ニ對シテ出兵致シマシテ、我國ノ權益ヲ擁護致シマスルコトモ、斯ノ如キ不當ノ壓迫ヲ取除イテ、日本人ノ滿洲ニ於ケル經濟的活動ヲ出來得ルダケ擁護シタイト云フコトガ、其大ナル目的デアリマス、所謂自衛權ノ發動デアリマシテ、其結果日本人ガ滿洲ニ既ニ出テ居ル者モ、生命財産ノ上ニ安定ヲ受ケルヤウニナリ、隨テ經濟的活動ニ對スル機會モ多ク、ナツテ參リマシテ、自然ニ滿洲ニ出ル數モ殖エテ來ルト思ヒマス、併シ同時ニ政府ト致シ

ル爲メデアリマス、政府ト致シマシテハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

マシテハ、滿洲ノ未開發ノ富源ヲ開發スルト云フコトハ、日本人ニ取ツテモ、亦滿洲人ニ取ツテモ利益ヲ意味スルコトデアリ、双方ノ幸福トナルコトデアリマスカラ、滿洲國ノ諒解ヲ求メマシテ、滿洲ニ對シテ出來ルダケ將來日本人ノ移住スル機會ヲ開拓シタイト思ウテ居リマス、併シ御承知ノヤウニ、從

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

來ハ滿洲ニ對スル日本人ノ移住ニ付キマシテハ、基礎的調查ガ出來テ居ラナイノデス、色々ナ機關ガ色々報告書ノ如キモノヲ出シテ居リマスガ、其間ニ矛盾シタモノモ澤山アリマス、又如何ナル方法ニ依ツテ移住セシムルコトガ、一番有利デアルカト云フコトニ付キマシテモ、信賴スルコトノ出來ルヤウナ調査ハ洵ニ少イノデアリマス、又移住シ得ルトシテ、ドノ方面ニ移住スルコトガ一番容易デアルカ、又其移住スベキ土地ニ於テ、ドウ云フヤウナ産業ニ從事セシムルコトガ、一番有利デアルカト云フヤウナコトニ付テノ調査ハ、頗ル不完全ナノデアリマス、是ハモット早クニ政府ガ調査ヲシテ、ソレニ對シテ適當ナル計畫ヲ立テ、置カナケレバナラナカッタノデアリマセウガ、サウ云フモノハ出來テ居ナイノデス、此度ノ追加豫算ノ中ニ、滿洲ノ移住ニ必要ナル基礎調査ノ經費ヲ計上致シテ御協賛ヲ仰イデ居リマスノモ、其必要ニ應ズ

ル爲メデアリマス、政府ト致シマシテハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

畫ヲ立テタルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、又從來既ニ滿洲ニ入ッテ居リマスル者ニ對シマシテハ、只今申上ゲマシタヤウニ、從來壓迫サレテ居リマシタ其壓迫ヲ取除イテ、以前ヨリハ遙ニ自由ニ滿洲ノ活動スルコトノ出來ルヤウナ、保護ヲ加ヘルコトヲ方針トシテ居リマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

○池田(敬)委員 只今拓務大臣ノ詳細ナル御答辯デ能ク分リマシタガ、實際ノ事情ハ今御話ノ中ニモアリマシタ、是迄ノ調査等ガ十分デナイ爲メデアリマセウシ、又出來タホヤ(ト)デモ言ヒマスガ、諸般ノ制度等モ整頓シナイ今日デアリマスルカラ、滿洲國ガ出來タカラト云ウテ、直グニ乗込ンデ仕事ノ出來ルヤウニハナリマスマイガ、聞ク所ニ依リマス、今日ハ滿洲ノ宿屋

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ハ、内地人ガ何カ仕事ガナイカト云ッテ漁リニ行ッテ居ル御客デ、滿腹ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスシ、又諸君ノ所ニモサウデアラウト思ヒマスガ、私ノ所アタリニモ知人ノ所カラ、滿洲ニ出掛ケル途ハナイカ(ト)云フコトヲ、頻々照會ヲ受ケルヤウナ次第デ、要スルニ向フニ出掛ケテ行カウト云フコトハ、今日ノ差迫タ狀態デアラウト思フノデアリマスガ、只今政府ニ於テモ御話ノ如ク十分調査ヲシテ、之ニ備ヘルダケノコトヲサレルト云フコトハ、誠ニ結構ト思ヒマスルガ、調査ニモ程度ノアルコトデアリマスルカラシテ、ドウカ成ベク早イ期間ニ於テ一應ノ調査ヲ遂ゲラレテ、ソレ等ノ問題ノ解決ノ一日モ早カラコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

○中村委員 丁度拓務大臣ガ御見エニナツテ居リマスカラ、實ハ陸軍大臣ニモ御伺致シタイト考ヘテ居ルコトガアルデアリマスガ、一寸御伺致シタイト思ヒマス、ソレハ近頃新聞等ニモ能ク載ッテ居リマスル、滿洲ニ於ケル四巨頭ノ聯絡統制ノ問題デアリマス、今日軍司令官、滿鐵總裁、關東廳長官、領事館、斯ウ云フモノガ各、其權限ノ中ニ立籠ッテ居ッテ、所謂群雄デハナイカモ知レヌケレドモ、一ツノ對立關係ヲ生ジテ居ル、之ヲ統制スル所ノ法制上ノ缺

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ハ、内地人ガ何カ仕事ガナイカト云ッテ漁リニ行ッテ居ル御客デ、滿腹ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスシ、又諸君ノ所ニモサウデアラウト思ヒマスガ、私ノ所アタリニモ知人ノ所カラ、滿洲ニ出掛ケル途ハナイカ(ト)云フコトヲ、頻々照會ヲ受ケルヤウナ次第デ、要スルニ向フニ出掛ケテ行カウト云フコトハ、今日ノ差迫タ狀態デアラウト思フノデアリマスガ、只今政府ニ於テモ御話ノ如ク十分調査ヲシテ、之ニ備ヘルダケノコトヲサレルト云フコトハ、誠ニ結構ト思ヒマスルガ、調査ニモ程度ノアルコトデアリマスルカラシテ、ドウカ成ベク早イ期間ニ於テ一應ノ調査ヲ遂ゲラレテ、ソレ等ノ問題ノ解決ノ一日モ早カラコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ハ、内地人ガ何カ仕事ガナイカト云ッテ漁リニ行ッテ居ル御客デ、滿腹ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスシ、又諸君ノ所ニモサウデアラウト思ヒマスガ、私ノ所アタリニモ知人ノ所カラ、滿洲ニ出掛ケル途ハナイカ(ト)云フコトヲ、頻々照會ヲ受ケルヤウナ次第デ、要スルニ向フニ出掛ケテ行カウト云フコトハ、今日ノ差迫タ狀態デアラウト思フノデアリマスガ、只今政府ニ於テモ御話ノ如ク十分調査ヲシテ、之ニ備ヘルダケノコトヲサレルト云フコトハ、誠ニ結構ト思ヒマスルガ、調査ニモ程度ノアルコトデアリマスルカラシテ、ドウカ成ベク早イ期間ニ於テ一應ノ調査ヲ遂ゲラレテ、ソレ等ノ問題ノ解決ノ一日モ早カラコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ハ、内地人ガ何カ仕事ガナイカト云ッテ漁リニ行ッテ居ル御客デ、滿腹ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスシ、又諸君ノ所ニモサウデアラウト思ヒマスガ、私ノ所アタリニモ知人ノ所カラ、滿洲ニ出掛ケル途ハナイカ(ト)云フコトヲ、頻々照會ヲ受ケルヤウナ次第デ、要スルニ向フニ出掛ケテ行カウト云フコトハ、今日ノ差迫タ狀態デアラウト思フノデアリマスガ、只今政府ニ於テモ御話ノ如ク十分調査ヲシテ、之ニ備ヘルダケノコトヲサレルト云フコトハ、誠ニ結構ト思ヒマスルガ、調査ニモ程度ノアルコトデアリマスルカラシテ、ドウカ成ベク早イ期間ニ於テ一應ノ調査ヲ遂ゲラレテ、ソレ等ノ問題ノ解決ノ一日モ早カラコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ハ、内地人ガ何カ仕事ガナイカト云ッテ漁リニ行ッテ居ル御客デ、滿腹ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスシ、又諸君ノ所ニモサウデアラウト思ヒマスガ、私ノ所アタリニモ知人ノ所カラ、滿洲ニ出掛ケル途ハナイカ(ト)云フコトヲ、頻々照會ヲ受ケルヤウナ次第デ、要スルニ向フニ出掛ケテ行カウト云フコトハ、今日ノ差迫タ狀態デアラウト思フノデアリマスガ、只今政府ニ於テモ御話ノ如ク十分調査ヲシテ、之ニ備ヘルダケノコトヲサレルト云フコトハ、誠ニ結構ト思ヒマスルガ、調査ニモ程度ノアルコトデアリマスルカラシテ、ドウカ成ベク早イ期間ニ於テ一應ノ調査ヲ遂ゲラレテ、ソレ等ノ問題ノ解決ノ一日モ早カラコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

ハ、内地人ガ何カ仕事ガナイカト云ッテ漁リニ行ッテ居ル御客デ、滿腹ヲシテ居ルト云フヤウナ狀態デアリマスシ、又諸君ノ所ニモサウデアラウト思ヒマスガ、私ノ所アタリニモ知人ノ所カラ、滿洲ニ出掛ケル途ハナイカ(ト)云フコトヲ、頻々照會ヲ受ケルヤウナ次第デ、要スルニ向フニ出掛ケテ行カウト云フコトハ、今日ノ差迫タ狀態デアラウト思フノデアリマスガ、只今政府ニ於テモ御話ノ如ク十分調査ヲシテ、之ニ備ヘルダケノコトヲサレルト云フコトハ、誠ニ結構ト思ヒマスルガ、調査ニモ程度ノアルコトデアリマスルカラシテ、ドウカ成ベク早イ期間ニ於テ一應ノ調査ヲ遂ゲラレテ、ソレ等ノ問題ノ解決ノ一日モ早カラコトヲ望ンデ止マナイ次第デアリマス

ハ、滿洲人ノ利益ヲ尊重シナケレバナ

陷モアリマセウ、或ハ其人ニモ依ルカ
モ知レマセウガ、兎ニ角聯絡統制ガ缺
ケテ居ルト云フコトハ、私共臚ニ之ヲ
想像モ致シマス、之ニ就テ其統制聯絡
ヲ執ル機關ヲ至急立テナケレバナラス
ト云フコトハ、御研究ニナッテ居ルデア
ラウト思ヒマスガ、最近ノ新聞等ニ依
テ見マスルト、軍部ト拓務省トノ意見
ガ多少違フト云フヤウナ點モアルヤウ
デアリマスガ、ソレハ兎モ角ト致シマ
シテ、拓務省ト致シマシテハ、ドウ云
フ風ナ聯絡統制ヲ執ラウト云フ御見込
デアリマスガ、御差支ノナイ點ダケ一
ツ玆ニ御説明ヲ願ヘレバ結構デアリマ
ス

○永井國務大臣 只今滿洲ノ所謂四頭
政治ノ御尋ガアリマシタガ、中村君ノ
御話ノ通り、從來滿洲ノ各種ノ行政機
關ノ間ニ、屢々事實上矛盾スルヤウナ
コトガアッタリ、又重複スルヤウナ命令
ヲ發シタリ致シマシテ、ソレガ滿洲ニ
於ケル我國ノ權益ノ擁護上カラ申シテ
モ、又在滿日本人ノ統制上カラ申シテ
モ、非常ニ不都合デアッタト云フコト
ハ、是ハ屢々論議サレテ居ッタコトデア
ッテ、サウ云フ事實ハ確ニアルト思ヒマ
ス、ソコデ政府ト致シマシテモ、滿洲
ニ於ケル各機關ノ間ガ、出來ルダケ統
一ノ執レルヤウニスルト云フコトガ必
要ダト考ヘテ居リマス、殊ニ滿洲新國

家ガ建設サレテ、滿洲新國家ト日本ト
ノ間ニ、從來ヨリハ一層種々ナル問題
ガ起ッテ來ルデアリマセウカラ、我國ノ
行政機關ノ關係ヲ統一シテ置クト云フ
コトハ、一層大切ダト思ヒマス、ソコ
デ其行政機關ノ統一ヲ執ルヤウニシタ
イト云フコトハ考ヘテ居リマスガ、今
日マデノ所マダ關係各省ノ間ニ意見ノ
交換ヲスル暇ガナイ、内閣ガ出來マシ
テ、御承知ノ通り短時日デアリマス爲
ニ、マダ此在滿行政機關ノ統一ノ問題
ニ付テ、關係各省ノ間ニマダ一度モ意
見ノ交換ヲシテ居リマセウ、是ハ各省
ノ間ニ意見ノ交換ヲ致シマシテ、サウ
シテ統一アル機關ニ纏メルヤウニシタ
イト思ッテ居リマス、今日マデマダ一
モ關係各省ノ間ニ意見ノ交換ヲシテ居
リマセウカラ、拓務省ト陸軍省トノ間
ニ意見ノ衝突ガアルトカ、サウ云フヤ
ウナ事實モアリ得ナイノデス、各關係
省デハソレト、在滿行政機關ノ統一ノ
必要ヲ感ジテ居リマスカラ、下調査ヲ
シテ居ルト思ヒマス、其下調査ヲ進メ
テ居リマスガ、出來ルダケ早イ期間ニ
政府トシテハ關係各省ノ間ニ意見ヲ交
換シテ、其色々調査シタモノヲ纏メテ、
完全ナル統一アル機關ニシテ、滿洲ニ
對スル對策ノ確立ニ資シタイト、斯ウ
考ヘテ居リマス

○中村委員 御誠意ノアル御答辯デ、
大體諒解致シマシタガ、拓務大臣トシ
テノ御考ハ如何デアリマスカ、ソレヲ
御漏ラシ願ヘマセスカ

○永井國務大臣 是ハ拓務省ダケデナ
ク、他ノ省ニモ關係ノアルコトデアリ
マスカラ、此機關ヲ如何ニ統一スルカ
ト云フコトハ、拓務省ダケ決スルノ
デナク、矢張内閣ニ於テ決シナケレバ
ナラスト思ヒマス、故ニ此場合拓務大
臣トシテノ意見ヲ述ベルコトハ、時機
ヲ得テ居ナイト思ヒマス

○岡田委員長 ソレデハ午前ハ是デ休
憩ヲ致シマシテ、午後一時半ニ再會致
シマス、サウシテ今陸軍大臣ト外務大
臣ノ出席ヲ求メテ居リマスガ、マダ返
事ハアリマセウガ、成ベク私ノ方カラ
催促致シマスカラ、ソレヲ御含ミヲ願
ヒマス

午後零時二十三分休憩

午後一時五十七分開議

○岡田委員長 是ヨリ議事ヲ開キマス

中村君

○中村委員 私ハ滿洲事件費ノコトニ
關聯ヲ致シマシテ、陸軍大臣ニ御尋ヲ
致シタイト思フノデアリマス、目下數
萬ノ我が皇軍ガ北滿ノ地ニ生命ヲ賭シ
テ日本ノ生命線ヲ守護サレテ居リマス
コトハ、洵ニ私共ノ感謝措ク能ハザル
所デアリマシテ、此點ニ付キマシテ、

陸軍大臣初メ陸軍首腦部ノ各位ガ、日
夜苦心セラレテ居リマシテ、其事カラ
考ヘマシテモ、滿洲事件費ノ問題ノ如
キハ、一日モ速ニ協贊ノ任ヲ竭サント
考ヘテ居ル次第デアリマス、併シ其内
容、費用ノ計算、或ハ滿洲國內部ノ狀
況等ニ付キマシテハ、私共甚ダ承知シ
ナイ點ガ多イノデアリマシテ、出來得
ベクンバ、此機會ニ於キマシテ、陸軍
大臣等カラ御詳細ニ御説明ヲ願ヒマス
ナラバ、洵ニ仕合アルト考ヘテ居ル
次第デアリマシテ、隨テ私ノ質問ノ内
容ガ、或ハ御答辯ノ場合ニ公開ヲ憚ル
ト云フヤウナ事柄ニモ、自然或ハ觸レ
ルノデハナイカト考ヘマス、ソレ等ノ
點ニ付キマシテハ、ドウカ陸軍大臣ヨ
リ、是ハ秘密會ニシテ貰ヒタイト云フ
ヤウナ點ガアリマシタラバ、御要求ヲ
御願致シタイト考ヘテ居ル次第デアリ
マス、先ヅ第一番ニ御尋致シタイト思
ヒマスノハ、今回御要求ニナッテ居リマ
ス公債發行ノ金額ハ一億九千二百五十
萬圓デアリマスガ、是ハ一月分迄ノ金
額ノヤウニモ聞イテ居ルノデアリマス
ガ、果シテサウデアルトスルナラバ、
此年度内ニ於テハドノ位ヲ要スルト云
フ御見込デアリマスカ、又其後ニ於キ
マシテモ、勿論是ガ直チニ三月迄ニ終
了スルト云フコトニナラウトハ考ヘマ
セウガ、是等ノ點ニ付キマシテ、陸軍

省ト致サレマシテハ、ドウ云フ御考ヲ將來ニ對シテ御持チニナツテ居リマスカ、先ヅ其點ヲ一ツ御伺致シタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 今回提出シテ協賛ヲ仰イデ居リマスノハ、六月カラ來年ノ一月迄八箇月分デアリマシテ、其金額ガ一億二千四百二十八萬三千百六十圓デアリマス、其以後ノ情勢ハ今ヨリ全ク豫想ガ付キマセスガ、大體ニ於テ變化ナクンバ、現在ノ姿勢ヲ當分取ツテ居ル必要ガアリハシマイカト考ヘマス

○中村委員 一月分迄ヲ御要求ニナリマシタ理由ハ如何デアリマスカ

○荒木國務大臣 軍ノ昨年カラ今迄ノ形況デモ、斷エズ變化ヲ致シマシテ、今日、明日ト云ツテモ、ドウ云フ變化ガ來ルカ分ラナイノデアリマシテ、最初カラ數回ニ切ツテ居ルノデアリマス、更ニ成ベク實況ニ即スルヤウナ計算ヲ以テ豫算ヲ組ムコトガ必要デアリマスカラ、成ベク短期々々ニ分ツテ豫算ヲ計算シテ居ル次第デアリマス、若シ是ガ特別會計ノ——實際ノ戰爭ト云フヤウナコトニナリマス、一舉ニ其方面デ事ハ濟ムノデアリマスケレドモ、只今ノヤウナ情勢デアルノデ、サウ云フ風ナ方法ヲ執ツテ居ルノデアリマス

○中村委員 サウ致シマス現在派遣セラレテ居リマス兵員ノ數ハドノ位

ニナツテ居リマスカ、同時ニ私ハ昨日陸軍省ノ方ニ材料ノ要求ヲ致シテ置キマシタガ、日獨戰爭當時ノ一人一日ノ金額ト、此滿洲事件ニ付テノ一人一日ノ金額トノ比較、遠クハ日露、日清トノ比較、サウ云フモノガ若シ出來テ居リマシタラ御配付ヲ願ヒタイシ、出來テ居リマセスケレバ、其處デ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○荒木國務大臣 人員ハ約三萬六千餘ト計算シテ居ッタヤウニ記憶シテ居リマス、ソレカラ過去ノ戰役トノ比較ニ付テハ政府委員カラ御説明申上ゲマス

○小野寺政府委員 ……………

○清水委員 此問題ハ祕密會ニ願ヒマシテ、同時ニ速記竝ニ新聞社ノ方ニ對シマシテハ、委員長ヨリ記事ヲ止メルヤウニ御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岡田委員長 清水君ノ御提案ニ御異議アリマセスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○岡田委員長 ソレデハ速記モ今ノ分ハ抹殺スルコトニ致シマス、是ヨリ祕密會ニ移リマス

○岡田委員長 是ヨリ公開致シマス、

是デ今日ハ散會致シマス、ソレカラ明日ハ午後一時ヨリ會議ヲ開キ、大藏大臣竝ニ大藏省ノ政府委員ニ質疑ヲ求メテ、大藏省關係ノ質問ヲ續行シタイト存ジマス

午後四時散會